

ナローゲージの北勢線で巡る土木遺産見学&そば打ち体験



「桑名ほんぱく」とは「桑名本物博覧会」の略称で、桑名の地域資源を活用した小規模な「地域体験型」プログラムの集合体のことをいいます。

平成 28 年は 9 月 24 日～11 月 26 日の期間に、桑名市内各所で 43 個のプログラムが開催されています。その中プログラムのひとつに「ナローゲージの北勢線で巡る土木遺産見学&そば打ち体験」が企画されています。

北勢線は、大正 3 年（1914）に開業した全国でも珍しい線路幅が狭い（762mm）ナローゲージの鉄道です。ガタゴト揺れる車窓から眺める田園風景におもわず癒されてしまいます。楚原駅で下車し、土木遺産に認定されたコンクリートブロック製の「ねじり橋」と「めがね橋」を見学します。

見学のあとは、挽きたてのいなべ名産「常陸秋蕎麦」のそば打ちを体験・試食します。今日からあなたも「そば打ち職人」になれるかもしれません。もちろん、そばはお土産にお持ちいただけます。

●第 1 回

実施日時：平成 28 年 10 月 29 日(土)

午前 8:30 ～ 午後 2:00 を予定

申込締切：平成 28 年 10 月 15 日（土）

料 金：3,500 円

定 員：10 組（先着順） 最少催行 4 組

※そば打ちは大人ひとりで一鉢（400g）。小学生以下の子どもは親子で一鉢にすることも可能。

申込方法：事前も申込必要。桑名ほんぱく公式 web サイト <http://kuwanahonpaku.net/>

または北勢線の魅力を探る会 集山一廣 ☎080-5130-6228

※詳細は桑名ほんぱく公式 web サイトを参照

集合場所：三岐鉄道北勢線 西桑名駅 〒511-0061 三重県桑名市寿町 2 丁目 31

※近鉄・JR・養老鉄道「桑名駅」より徒歩 3 分

駐車場：なし

案内人：【北勢線の魅力を探る会 集山一廣】

北勢線沿線の魅力を探しながら駅から駅へと、毎年、春と秋の 2 回「おとなの大遠足」を行っています。今年で 14 年目をむかえました。毎回 100 人を超える参加者があり、熱心なリピーターが多く、大好評です。